

第14回
建築設備シンポジウム
環境建築がひろげるこれからの価値創造



日時

2018年10月23日(火)

10:00~17:15

会場

建築会館ホール (東京都港区芝5-26-20)

主催

日本建築学会 環境工学委員会 建築設備運営委員会

後援

空気調和・衛生工学会、建築設備技術者協会、電気設備学会、
日本設備設計事務所協会連合会、建築設備総合協会、建築設備コミッションング協会、
日本冷凍空調学会、照明学会、日本建設業連合会、日本空調衛生工事業協会

目次

はじめに 秋元孝之（芝浦工業大学）2

特別講演

環境建築と価値創出 村上周三 [(一財) 建築環境・省エネルギー機構理事長]3

第1部 「価値をたかめる環境建築」

1-1 コープ共済プラザ 村松 宏 (日建設計)15
 1-2 大手町パークビルディング 安田健一 (三菱地所設計)20
 1-3 関東学院大学 建築・環境棟 (5号館) 佐々木真人 (日本設計)26
 1-4 大林組技術研究所「WELL 認証」 小野島一 (大林組)31
 1-5 みんなの森 ぎふメディアコスモス 荻原廣高 (Arup) 35

第2部 「環境建築がもたらす価値に関する研究」

2-1 京町家の温熱環境 銚井修一 (京都大学)41
 2-2 これからの照明環境 平手小太郎 (東京大学)46
 2-3 省エネ・省 CO₂ ポテンシャルと性能検証 奥宮正哉 (名古屋大学)50
 2-4 建築設備一体化技術の環境性能評価 白石靖幸 (北九州市立大学)54
 2-5 建築環境エミュレータと最適化 富樫英介 (工学院大学)60

総合討論 「環境建築がひろげるこれからの価値創造」